

サイエンス通信 (35)

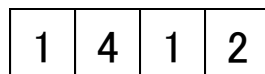
切手パズル

『切手パズル』というパズルを紹介します。同じ名前と呼ばれる別タイプのパズルもあるようですが、(進) が知人から教えてもらった『切手パズル』は、



のようなマスの中にうまく数を入れて、単独もしくはつながっている複数の数の和で、1、2、3・・・とすべての数をつくるように配置をするパズルです。

たとえば、



という数の配置にすると、

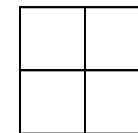
1	4	1	2	→	1		1	4	1	2	→	2
1	4	1	2	→	3		1	4	1	2	→	4
1	4	1	2	→	5		1	4	1	2	→	6
1	4	1	2	→	7		1	4	1	2	→	8

のように、1から8まですべての数を作ることができます。この横1列のものは、マスの数を5マス、6マス・・・と増やしていけば、よりパズル度『?』が上がって、面白さを増すことになります。(進) はまだ正解を見つけてはいませんが、最大で、

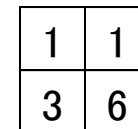
4マス→9、 5マス→13、 6マス→17、 7マス→23

まで作れるそうです。

このパズルは別バージョンのアレンジが考えやすいという面白さがあります。マスを横1列の配置ではなく、たとえば、



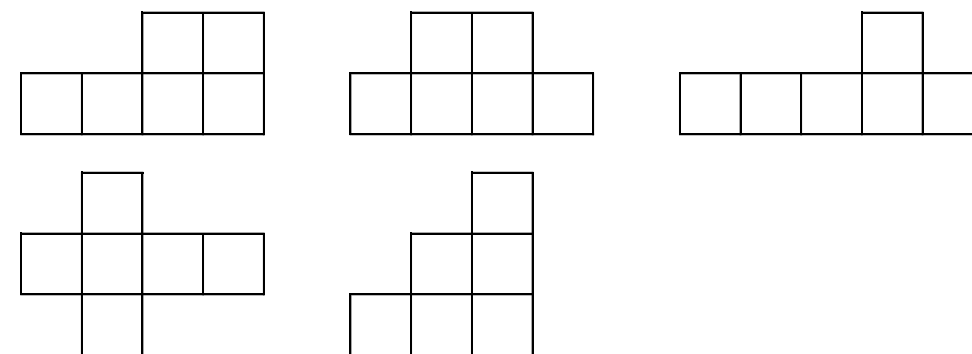
のようなものにしてみて、中の数を



とすると、下のように1から11までの数を作ることができます。

1		1	1			1	
				3		3	
1	1				1	1	1
3			6		6		6
		1		1	1		
3	6	3	6	3	6		

これを2×3の6マスにしたり、さらにもっと自由に



のような形式にしても、楽しめるのではないかと思います。(進)